

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動書】

奈良市立平城小学校野外活動支援 報告書

特別支援教育専修 2 回生 神吉優利奈

1. 実施日 2023 年 6 月 28 日(水)

2. 場 所 奈良市青少年野外活動センター

3. 参加者 英語教育専修 4 回生 福西 隆生
英語教育専修 3 回生 苗代 昇妥
特別支援教育専修 2 回生 神吉 優利奈
特別支援教育専修 2 回生 才田 優佳
国語教育専修 2 回生 吉岡 優来
英語教育専修 1 回生 田中 天央衣



キャンプファイヤーの様子

4. 活動の概要

2023 年 6 月 28 日に奈良市青少年野外活動センターにて、奈良市立平城小学校 5 年生の野外活動が行われ、その支援を目的として本学ユネスコクラブの学生が参加した。活動支援の具体的な内容は、野外炊飯の補助、キャンプファイヤー準備、スタンプの実施、蛍見学の準備などである。

5. 参加学生の学び・感想

今回の支援活動で私が達成できたことは 2 つある。

1 つ目は飯盒炊飯だ。昨年度はコロナによる規制が弱まって初めての飯盒炊飯であったため、私たちが勝手が分からず失敗してしまうこともあった。その失敗を活かし、今回は焦がすことなく全ての班にご飯を提供できたことを嬉しく思う。

2 つ目はキャンプファイヤーだ。直前の野外炊飯の最中、ゲリラ豪雨に見舞われ、点火台は使えるものの地面がぬかるんでおり屋外での開催が危ぶまれた。しかし、楽しみにしている子どもたちの顔と先生方の残念そうな顔を見て、居ても立っても居られず、子どもたちの入浴時間を使って大きなスポンジで水取りを行うことを提案した。

その案を採用していただき、ユネスコクラブの仲間たちも提案に乗ってくれたことで、無事屋外でキャンプファイヤーを行うことができた。校長先生からもお褒めの言葉をいただき、自分の行動が子どもたちも先生にも喜んでいただけたことを誇りに思う。

今回の成功体験を自信につなげ、また後輩たちに繋いでいきたい。

(英語教育専修 4 回生 福西 隆生)

私が今回の野外活動支援で学んだことは、野外活動における判断の大切さである。

今回の野外活動は、野外炊飯を行ったあとに、児童たちの入浴、キャンプファイヤーという流れであった。しかし、野外炊飯の最中、強い雨が降り屋外でのキャンプファイヤーの実施が困難に思われる状況になった。その後、雨は弱まり結果的には屋外で実施することができた。このことから、野外活動においては天候や地面の状態など、いくつかの要素から総合的に判断することが大切であること

が分かった。

(英語教育専修 3 回生 苗代昇妥)

今回の野外活動支援では、野外炊飯、キャンプファイヤー、蛍見学の活動に参加させていただいた。私は今回の野外活動支援の中でも特に、すべての活動が時間通りに進み、かつ子ども達がとても楽しそうにしていた様子が印象に残った。その様子から、子ども達は野外活動を心待ちにしている、心から楽しんでいるのだろうと思った。また、子ども達にとって野外活動は学校では経験出来ないことであり、貴重な機会であることを改めて感じた。次回、野外活動支援に参加する際には、野外活動が子ども達にとって貴重な機会であることを頭に置きながら、子ども達が多くのことを経験出来るように支援したいと思う。

(特別支援教育専修 2 回生 神吉 優利奈)

今回の野外活動支援で特に印象に残っていることは、全ての活動においてほぼ時間通りに進んだことである。野外活動は、非日常的なことであり、想定外の事が起きたり、指示が通りにくかったりすることがあり、これまでの経験では時間通りに進むことは困難なことが多いように思う。その上今回は、途中豪雨に見舞われたにも関わらず、先生方の臨機応変な対応により、円滑に進行した。また児童が協力して活動していたことも大きな理由である。そして、何とか屋外でのキャンプファイヤーをすることができた。雨が降りキャンプファイヤーはできないかと考えられたが、なんとかできたことに非常に嬉しく思った。

(特別支援教育専修 2 回生 才田 優佳)

今回の野外活動支援では、児童と接するときには信頼関係が大きく関わってくるということを実感した。支援をしていた中で、私の近くで泣いてしまった児童や喧嘩をしていた児童が数名いた。そこで、話を訊いてみようを試みたが、やはり全く返答してくれず、対応することが出来なかった。しかし、当然先生方は対応をしっかりされていた。その姿から児童の性格や周囲の環境などを知ってくれている先生と児童との信頼関係は厚いということを感じた。今後の支援や活動では短い間で信頼関係を築くということは難しいと思うが、その重要性を認識し、今後の活動ではそのことも意識したい。

(国語教育専修 2 回生 吉岡 優来)

今回の野外活動支援は一言で表すととても楽しかった。私にとって貴重な体験となり、充実した時間であった。野外活動に参加するのは今回が初めてで計画通りに進めることができるのか、足を引っ張ってしまうことがないか、不安であった。だが、実際行ってみると、先生方や子ども達、先輩方の力があり、無事終えることが出来た。非常に大きな達成感を感じる事が出来た。途中豪雨の関係でキャンプファイヤーができるかどうか分からなかったが、スポンジで水を吸い取り無事実施することが出来た。子供たちの楽しそうな笑顔を見ることができ、本当に心が温まった。この活動を通して、自分が子供たちと関わることが好きであることを再認識できた。これからも積極的に参加していきたいと思う。

(英語教育専修 1 回生 田中 天央衣)